

回答者：町長

ご提案の内容	ご提案に対する回答
<p>ドッグランの整備 犬が自由に駆け巡ることのできるドッグランが欲しいです。できればさゆり公園の片隅を柵で囲うだけいいです。 大久保に行く途中のバラ園とか、あるいは奥川方面でも、それほど広くなくても、少しの間、リードなしで思い切り走れたら犬も喜ぶでしょう</p>	<p>回答日 平成22年3月31日 担当課 経済振興課</p> <p>ドッグランは、現在県内で2箇所利用できる施設があります。個人で開設されペットを飼っている方が利用されています。規模としては、個人の住宅等の隣接地を柵等で囲い人又は家畜に危害を加えるおそれのない方法でドッグランとして解放してあります。</p> <p>運営されている方の話では、利用上の管理、運営については、利用している犬同士が噛み付いたり怪我をしたりする事故等が発生することがあります。トレーナーの資格がある人が常勤することが望ましく、病気の感染やその他のトラブルを防止するための細かい注意が必要であるとのことです。</p> <p>多くの町民が利用する公共施設でのドッグランの整備は、安全面とこれらの条件をクリアすることが課題であり実施するのは、困難であると考えます。</p>
<p>防災無線のチャイムについて 現在、6時・11時30分・17時に防災無線からチャイムが流れていますが、もうそろそろ、なくしても大丈夫なのではないでしょうか。元来、このチャイムは、農作業する方々に時刻を知らせるためのものだったと伺っています。時代は変わり、時計も携帯電話も普及している現在、農作業に出る方もそれらを身に付けておられるようになり、このチャイムは、むしろ騒音になっています。各家庭に防災無線器が設置されていいが経ちますが、子供や高齢者、夜勤明けの方が寝っている時や来客・電話中の時は、大音量のため、目を覚ましたり、会話が聞き取れないなどの状況があります。小中学校では、自主性を育てるため、授業開始と終了のチャイムは流していません。しかししながら、学校近くにスピーカーが設置されている箇所もあります。授業中に11時30分のメロディが流れると、約1分間、先生は指導をやめ、子どもたちはメロディが終わるのを待ち、そのことで集中力が途切れている現状があります。また、町外の方がこのチャイムを聞くと、空襲警報を思い浮かべるとか、耳のすぐそばで鳴っているようで朝はビックリして飛び起きたとか、という感想も聞きます。町内外の現状を鑑み、1日3回のチャイムの放送について、ご高配を賜りたく存じます。</p>	<p>回答日 平成22年3月31日 担当課 町民情報課</p> <p>チャイムの役割1】 6時～起きる時間です。11時30分～そろそろ昼食時間です。17時～夕方になったのでそろそろ家に帰り(入り)ましょう的なニュアンスをもって、屋内外の地区住民等に一斉にお知らせする手段と考えてください。この場合、必ずしも農作業等仕事に従事しているかいないかにはこだわっておりません。高齢者の方がご近所の方とお話をしていたり、子供たちが友達同士遊んでいたりと、様々な日常生活パターンが考えられます。ある意味、日常生活の基本的な生活サイクルをお知らせしているものです。そのため、生活様式の多様化などにより、生活サイクルが異なる(変わった)場合には、違和感を覚えることもあるかも知れません。また、スピーカーをとおしての放送であることから、近くの方にとっては大きな音量のため、騒音と感じている方もいらっしゃるかも知れません。でも、遠く離れた方々に伝わらないようでも困ります。(防災広報の場合は特に)また、個別受信機が設置されているご家庭では、音量調節もご自分でできますので、必要によっては試してみてください。</p> <p>チャイムの役割2】 防災行政無線の本来の役割は、各種の防災情報を確実に町民の皆さんに伝達することにあります。このため、普段からの機器の保守に万全を期す必要があります。機器の故障発生をチャイムの異常によっていち早く確認することができます。チャイムはこうした一面も持ち合わせているのです。</p> <p>これからの方々】 この防災行政無線システムは、設置からすでに20年余りを経過している地区もあり、機器の老朽化に伴う修繕が必要となるケースが増加しています。こうしたことから、今後、新たなシステム構築を含めた更新を検討していく必要があります。さしあたり、チャイムの回数を減らしたり、時間やメロディを変えたりすることも可能ですが、そのことによる混乱も想定されますので、今後、多くの町民の皆さんのご意見を伺う機会を設けるなどしてその対応を検討していきたいと思いま</p>